

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和 4年 2月 日

事業所名： 東予こどもデイ青空
(西条市 大町)

事業所スタッフ及び保護者の皆様の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かして参ります。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 ①	○			利用人数の変動が大きいため、状況に応じて外出など戸外での活動も心がけている。 今後利用人数増があれば、2階の使用も検討する。	88%		6%	6%	・現在は使用しておりませんが、人数に合わせて2階部分も活動時に使用できるよう準備を進めております。
	2 職員の適切な配置 ②	○			職員の人数を考慮し、状況に応じて室内活動の充実を図るなど、工夫している。 利用児の特性を考慮してシフトを組んでいる。	94%			6%	・安全確保と支援の質向上のため、余裕ある配置に努めます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備 ③	○			絵カードやホワイトボードを使用した説明、声かけを心がけている。 カームダウン室の利用方法を改めたい。	88%	6%	6%		・今後も利用児の特性に合わせた環境整備・情報伝達方法の改善に努めます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 ④	○			徹底した清掃と除菌に努めている。リラックスできるハンモックは大好評。	88%		6%	6%	・子どもが安心でき、喜ぶ環境・支援をしていただいている。 ・コロナ禍での感染回避対策の徹底を図って参ります。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画 ⑤	○				/	/	/	/	・シフト勤務のため全員参画の工夫を凝らして、チーム大町で取り組みます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 ⑥			○		/	/	/	/	・第三者外部評価は現在取り組めておりませんが、今後、外部機関との連携を図り業務改善に取り組めるよう検討して参ります。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 ⑦	○				/	/	/	/	・月1回の社内研修を実施しています。また一部のスタッフは、保育士資格取得にチャレンジします。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
適切な支援の提供	1	○			もっと計画策定に携わり、お子様や保護者様のニーズに添えるよう努めてまいります。	100%					・定期モニタリングに加え、送迎時や電話等での意見交換の機会を捉えてニーズの把握に努めます。
	2	○			利用児の支援に必要な項目の設定や支援内容をもっと勉強しないといけない。	94%	6%			・年2回ミーティングでニーズに応じてもらっている。	・今後も、計画がガイドラインに沿ったものであるかを確認しながら計画の作成を行ってまいります。
	3	○			放デイ計画を作成出来るように、スキルアップを図ってまいります。	/	/	/	/	/	・個別の支援目標を再確認して、体制に拘わらず支援の実施が出来る様、再構築します。
適切な支援の提供 (続き)	4	○			より適切な支援を行えるように、支援方法の検討やスタッフ間での連携を深めてまいります。	100%					・定期的に計画の内容をチェックして、ズレが生じていないか、検証・修正していきます。
	5	○				/	/	/	/	/	・コロナ禍で制約が多い中ですが、チーム大町で妙案を出し合いたい。
	6	○				100%					・コロナ禍での制約がありますが、利用児のブームや職員の奇抜なアイデアをもとに、個々の支援計画にリンクさせていきたい。
	7		○			/	/	/	/	/	・利用児の特性や課題を把握の上、利用時間に応じた活動を計画・実施につなげたい。
	8	○				/	/	/	/	/	・これまで同様毎日のミーティングを行い、活動内容、安全感染対策の確認周知の上、チーム大町で支援にあたります。
9	○				/	/	/	/	/	・これまで同様一日の振り返りを行い、記録にとどめ、より良い支援方法の検討や利用児の現状把握を行い、支援に活かします。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
	10	○									・コロナ禍での記録の重要性も増しているため、正しい記録により、変化を見逃さず、支援の改善につなげたい。
	11	○			お子様の細かな変化に気づき、適切に計画の見直しが行えるようスタッフ全員で努めてまいります。						・現在は定期的開催としているが、利用児の顕著な変化が見られる時は、先手の見直し実施を検討したい。
関係機関との連携	1	○									・会議が支援の時間と重なる時はサビ管となるものの、可能な限り児童指導員の参加をはかります。
	2		○								
関係機関との連携	3		○								
	4		○								・主な内容は相談支援専門員からもたらされるが、学校お迎え時などの会話から、情報共有の深掘りを行いたい。
	5		○		月1回の連絡会に出席し、情報の共有を行っている。						・主な内容は相談支援専門員が担うが、必要に応じた情報提供と連携を行っていききたい。
	6		○		助言や研修を受けるチャンスが欲しい。						・専門機関とは、診断書など文書中心となるが、必要があればこちらから積極的にアドバイスを求めていききたい。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちら ともい えない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちら ともい えない	いい え	わから ない	保護者の方のご意見	
続き	7 放課後児童クラブや児童館との交流など、 障がいのない子どもと活動する機会の提供 ㉔			○		41%	6%	6%	47%	・コロナ禍のため、どうしても制限を受 けます。 ・本人が混乱する可能性があるため、機 会があったとしても見送ります。 ・外へお出かけした際、接する機会はあ ると思います。	・引き続き、公園やお出かけの 時、出会った地域の子も達との スムーズな交流を心掛けていきま す。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域 に開かれた事業の運営 ㉕			○		/	/	/	/		・自治会に加入しており、引き続 き地域に住む方々とのコミュニ ケーションを取る様、心掛けてい きます。
保護者への説明責任・連携支援	1 運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いての丁寧な説明 ㉖	○			今後も丁寧な説明を行ってまい ります。	94%		6%		・メールでの活動報告が丁寧。	・利用契約締結時には説明資料を 用いて、丁寧な説明を心掛けてい ます。
	2 放課後等デイサービス計画を示しながらの 支援内容の丁寧な説明 ㉗	○			今後も丁寧な説明を行ってまい ります。	88%	6%	6%		・年2回のミーティングで良い話し合 いができている。	・コロナ禍で制約がありますが、 充分な感染対策を講じた上で、丁 寧な説明を心掛けます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対するペアレント・トレーニング等 の支援の実施 ㉘			○		64%	12%	6%	18%		・今後もご家族のお気持ちに寄り 添い、視点を変えた提案等が出来 る様、努めたい。
保護者への説明	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃 から保護者との共通理解の徹底 ㉙	○				88%	12%			・送迎時にも教えてもらっている。	・これまで以上に、利用児の状況 を保護者様に積極的に発信して、 また感想を伺い、共通理解を深め ていきたい。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談 への適切な対応と必要な助言の実施 ㉚	○				82%	12%		6%		・引き続き、保護者様からの相談 に適切に応じられるよう、知識や スキルを身に付けたい。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催 による保護者同士の連携支援 ㉛			○		12%	18%	18%	52%	・必要があれば学校で開催されてい る活動に参加するので、問題ない です。 ・同じ支援学校のお母さんとも話す機 会がある。	・引き続きコロナ禍で制約があり ますが、充分な対策を講じた上 で、交流や研修の機会を得ていき たい。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見		
明責任・連携支援（続き）	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 ③	○				59%	6%		35%		・引き続き管理者・責任者を中心に対応にあたり、保護者様等からのご意見を真摯に受け止め、より良い施設運営を目指します。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 ④	○				70%	6%		24%		・引き続き保護者様、利用者様の実態に合わせ、直接お話をしたり、ICT機器を用いて意思疎通、情報伝達に努めます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 ⑤		○			53%	6%		41%		・時季をみた発信はあるものの、定期までには至っていません。ICTを利用するなどして、定期的な発信を企てたい。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応 ⑥	○			個人情報の取り扱いには、細心の注意を払って行っております。	88%			12%		・引き続き、個人情報の取り扱いには十分注意して参ります。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 ⑦	○			職員が周知しているマニュアルはあるが、保護者には周知されていないので、周知できるようにしたい。	76%	6%		18%		・引き続き、自然災害や感染症など、各時季に応じた注意点や対応などを発信していきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 ⑧	○				59%	6%		35%	・避難訓練もしてくれている。	・なるべく参加児に偏りがないようにしながら、年3回以上の訓練を行っています。実施した際には、ご家庭への報告を徹底します。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応 ⑨	○									・引き続き、年2回職員全体の虐待防止研修会と関連機関が開催する研修会への参加を続けるとともに、日常の支援に活かすよう努めます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の対応 (続き)	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での放課後等デイサービス計画への記載 ④	○				/	/	/	/		・現在対象児はいませんが、身体拘束や行動制限の緊急必要性を内部で議論し、保護者様への説明、書面同意、個別支援計画への反映、日々の記録、終了時も同様に行って参ります。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 ④	○			医師の指示書を見る機会をつくりたい。	/	/	/	/		・現在対象児はいませんが、ご家族や主治医から情報を収集、精査し、適切な対応を行います。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 ④	○			ヒヤリハット事例をもっと多く作成するようにしたい。	/	/	/	/		・引き続き、ヒヤリハット事例を記録し、その要因を分析した上で今後の対応策をしっかり話し合い、日々の支援の中で、再発防止に全力で努めます。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか③	/	/	/		94%	6%			・とても楽しみにしている。	・引き続き、100%を目指します。
	2 事業所の支援に満足しているか④	/	/	/		94%	6%			・ありがたく思っている。	・引き続き、100%を目指します。